

群青

～いじめ問題を考える～

串木野高等学校図書館
令和6年5月20日発行

いじめ問題を考える週間（5月20日～5月24日）

いじめとは

「一定の人間関係のある他の児童生徒が行う心理的又は物理的な影響を与える行為（インターネットを通じて行われるものも含む。）であって、当該行為の対象となった児童生徒が心身の苦痛を感じているもの。」と定義されています。

（『いじめ防止対策推進法』文部科学省）

コミュニケーション型いじめ

仲間はずれや陰口無視する



ネット型いじめ

インターネット上での誹謗中傷



暴力・恐喝型いじめ

暴行や金品をたかられる



集団心理
みんながやって
いるからいい。

NO!

加害者

- ・ふざけているだけ……人の傷みを想像できない。
- ・根拠のない理由→うわさ→いじめる理由の確立。
- ・ストレス、不満の発散。

傍観者

- ・巻き込まれたくない。見て見ぬふり。
- ・次のターゲットになりたくない。

観衆

- ・直接手を出さないが、面白がったりはやし立てたりする。

被害者

- ・隠す……いじめられていることを知られたくない。
～平気なふりをして自尊心を保つ。
心配をかけたくない。状況の悪化を恐れる。
- ・自己否定
- ・心の傷……不安障害や PTSD で一生苦しむ場合もある。

いじめは
絶対に許されない行為
と認識する



『友だちをいじめる子どもの心がわかる本』

原田 正文 監修